



夢もつ子 No.144

令和3年12月20日

長崎市立西浦上小学校
副校長 大石 信弥

連日、肌寒い日が続いています。仮校舎建設も順調に進んでいる様子で、基礎部分ができつつあります。(ホームページで工事の進捗状況を更新しています) 狭くなった運動場では、学年ごとに割り当てられた朝、中休み、昼休みの時間に歓声を上げながら元気に走り回る子どもたちの様子が定着してきました。冬休みまであと4日となりましたが、感染予防をしっかり行い、元気に2学期の終業式が迎えられるように指導していきます。ご家庭でも引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

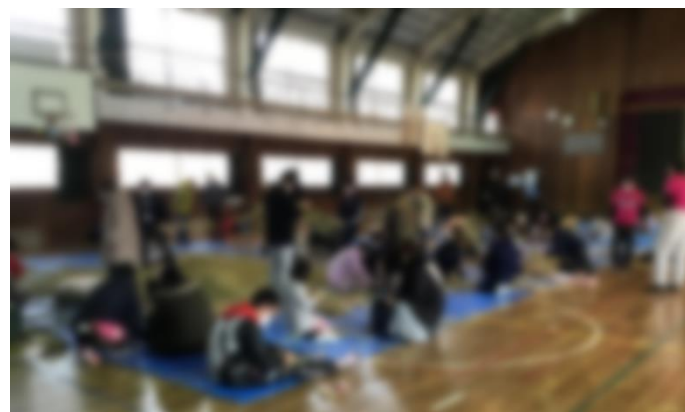
育成協主催 大門松作り



午前中の雨が心配されましたが12月19日(日)に、毎年恒例の「大門松作り」が行われました。

体育館では、中学生の指導により「しめ縄リース作り」も開催されました。

育成協の皆様を中心に、自治会長様をはじめ多くの地域の方、育友会の皆様、教職員、中学生、児童の代表も参加して、40人程で1時間かけて、立派な門松が完成しました。お近くを通られる際には、ぜひご覧ください。



門松には、その中心に3本の竹がありますが、西浦上小の門松は2番目の長さの竹を、それぞれ外側に配置しています。これには、「禍に出ていってもらおう。」という意味があるそうです。

一日も早く「コロナ禍」が去って、新しい年がよい年となるよう願うばかりです。

人権集会(放送集会)を行いました

12月14日(火)人権集会を行いました。この集会は、毎年、人権週間期間中に行っていますが、子どもたちの人権を尊重する気持ちを育てるために、とても大切なものと考えています。集会では、人権平和委員会が考えた「いじめゼロ宣言」の発表や「わたしのせいじゃない」という絵本の朗読を行い、人権について考える機会を与えてくれました。

人権集会の校長の話

毎年、12月4日から12月10日までの1週間を、「人権週間」といい、みんなで、人権について深く考える期間にしています。西浦上小でも、この期間に人権集会をはじめ、人権について深く考える時間をつくってい

ます。

人権、それは、一人一人が生まれたときから持っている自分らしく生きていくための権利のことを言います。人権は、お互いに尊重することが何より大切です。つまり、一人一人の考えや生活の仕方はみんな違うのです。そして、違うことについて差別をしたり、意地悪をしたりすることは許されないことなのです。みなさんは、そのことを一人一人が心にとめて生活しましょう。

さて、私たちは一人では生きていくことができません。私たちが生きていく中には、多くの人とのかかわりがあります。もちろん学校でもみなさんは、友達や先生方などの多くの人に囲まれて生活しています。わたしは、この西浦上小に通う人すべてが、今日も学校に行くのが楽しみだと思えるような学校をみんなで心をつなげて作りたくて願っています。

そのために大切な言葉が二つあります。何だと思いませんか。

一つは、「ありがとう」です。子どもであれ、大人であれ、私たちは多くの人々の支えで生きています。あなた方を支えてくれている身の回りの多くの人に対して「感謝」の気持ちを表す大切な言葉です。

もう一つは、「ごめんなさい」です。人は誰でも失敗を繰り返します。大人だってそうです。大切なことは同じ失敗を繰り返さないこと、そして、失敗を認め、素直に謝ることだと思います。

この二つの言葉で、西浦上小が満たされることがあれば、この学校は、きっとみんなが通いたい、楽しいと思える素晴らしい学校になります。気持ちを一つにして取り組んでください。

今日の人権集会を通して、皆さんが、もう一度「人権」について、しっかりと考えてほしいと願って話を終わります。

北部給食センター給食リハーサル

12月14日(火) 北部給食センター給食リハーサルが実施されました。3学期から市内24校が、センター方式へと変わります。(センターで作った給食を、各学校へ配送する方式)

リハーサルでは、初めてのセンター給食ということで、配送トラックの学校への到着時刻が遅れたり、到着した給食を給食室に並べる作業が遅れたりとはプニングもありましたが、温かい「ごはん」「麻婆豆腐」「三色ナムル」「焼き餃子」をおいしくいただきました。23日(金)に今回の改善点を生かし、2回目のリハーサルが行われます。



おめでとう！がんばりました！

☆ 令和3年度 JA 共済小中学生書道コンクール 条幅の部 銅賞0年 OO OOさん

☆ 第5回長崎県小学生親善バドミントン大会 3年生男子シングルス 第3位 0年 OO OOさん

